

埼玉県総合リハビリテーションセンターだより

<今号の内容>

- ～摂食嚥下障害のリハビリテーション～ ……1
- 病院部門 3つのセンターの取組 ……2
- 認定看護師による地域公開研修のお知らせ ……4
- 当センター認定看護師の紹介 ……4



発行： 埼玉県総合リハビリテーションセンター
〒362-8567 埼玉県上尾市西貝塚 148-1
TEL 048-781-2222

※お知らせ：

例年秋に開催していた「センターまつり」ですが、今年度は新型コロナウイルス拡大防止のため中止とします。

～摂食嚥下障害のリハビリテーション～ 言語聴覚科

当科では脳血管疾患や神経難病等による摂食・嚥下障害（飲み込みの障害）に対し、リハビリテーションを実施しています。

● 摂食嚥下障害とは？

摂食嚥下障害とは、飲み込んだり食べたりすることが難しくなる状態をいいます。「誤嚥」という言葉を聞いたことがある方も多いと思いますが、「誤嚥」は食べ物や唾液を飲み込んだときに、食道ではなく気道に入り込んでしまうことをいいます。

摂食嚥下障害により、十分な栄養や水分がとれず**身体が衰弱**する、喉に食べ物を詰まらせ**窒息**する、食物とともに口の細菌を誤嚥して**誤嚥性肺炎**となる等、様々な問題が起こります。



● 摂食嚥下リハビリテーション

飲み込みの機能の**評価**を行い、その評価に基づき**訓練**を行っています。

評価：飲み込みに必要な器官（口、舌、喉頭等）の運動機能検査、舌圧測定、口腔内水分量測定、水飲みテスト・反復唾液嚥下テスト、嚥下造影検査（VF）、嚥下内視鏡検査（VE） 等

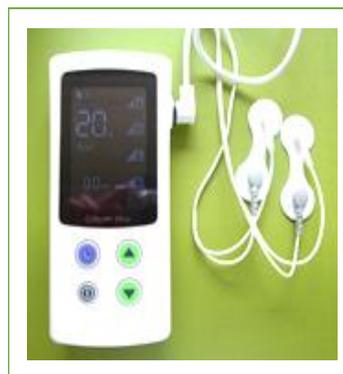
訓練：筋力トレーニング、神経電気刺激、安全な飲み込み方・適切な姿勢や食物形態の選定 等

● 神経電気刺激装置

訓練機器として神経電気刺激装置を導入致しております(写真参照)。この装置は喉に微弱な電流（干渉波）をあて感覚神経に刺激を与えることで、嚥下反射（食物を飲み込む反応）や咳反射を起こりやすくする新しい治療器です。1日10～30分、3～7日/週、10日～数ヶ月行います。

訓練時や食事の際に使用しています。

当科では、今後も新しい評価法・機器を取り入れながら、安全に美味しく食事を召し上がれるようリハビリテーションを提供してまいります！



病院部門 3つのセンターの取組

当センター病院部門では、重点的に取り組んでいく医療分野を明確化するとともに、多職種連携による医療提供を推進するため、令和4年6月1日に「神経難病センター」、「若年者リハビリセンター」、「障害者医療センター」の3つのセンターを新しく設置しました。

今回は、この3つのセンターの取組について各センター長にお話を伺いました！
※各センターの詳細は、二次元コードからホームページへアクセスしご覧ください。

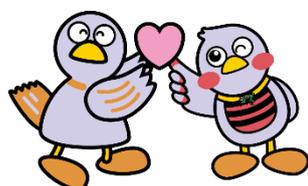
神経難病センター

センター長 日誌 正樹 先生



概要

パーキンソン病や脊髄小脳変性症など、神経難病患者への短期集中リハビリ入院や外科手術などを行います。



当センターの強み

近年、専門家の間でもリハビリの有効性が注目されています。当センターでは薬物や手術による治療とリハビリを総合的に行うことができます。

また、DBSなどの外科手術の後、リハビリを早期に始められることが大きな強みです。

日誌 センター長 メッセージ

「神経難病に対する短期集中リハ入院」も「パーキンソン病に対するDBS^{*1}やLCIG^{*2}」も両方できる病院はなかなかありません。当センターではそれができます。健康寿命（今の日常生活や社会生活）を延ばしたい方は、ぜひ当センターをご利用ください。

在宅医療オンライン相談

☆対象…在宅医療を担う専門職のかた

神経難病に関するお悩み相談を受付けています。相談希望のかたは事前申込みが必要です。詳しくは上記二次元コードにアクセスし御確認ください！

※1DBS…脳に電極を挿入し、持続的に電気刺激を行う手術療法です。パーキンソン病等の改善に効果があります。

※2LCIG…薬物療法の1つで、胃ろうに挿入したチューブを介して持続的に薬を投与する治療方法です。薬物効果のムラがなく一定になります。

※ 若年者リハビリセンター

センター長 堀匠先生



概要

若年の脳卒中の患者さんや頭部外傷による高次脳機能障害の患者さんなどに対して、復職・復学までを視野に入れたリハビリテーション医療を提供します。

当センターの強み

若年の患者さんが圧倒的に多いので、知識、経験が豊富なスタッフが揃っています。新しい知見も取り込みながら、質・量ともに高いレベルのリハビリが可能です。

堀 センター長 メッセージ

復職・復学などの社会復帰まで支援し、生活の質の向上を目指した良質な医療サービスを提供できるよう、スタッフ全員ワンチームで取り組んでいきます。

一緒にリハビリ頑張りましょう！

※若年者…65歳以下の就労世代のことを指します。



概要

障害進行に伴う症状（痙縮等）の改善に資する医療を提供します。

当センターの強み

バクロフェン髄注療法^{※2} やボツリヌス療法^{※3}などの先進的な医療の提供や、障害者の方への歯科診療を行います。

川崎 センター長 メッセージ

当センターの強みである先進医療と専門的なリハビリとを組み合わせることで、より効果的な治療が可能です。また、歯科治療も行っています。痙縮等による慢性的な痛みや、お口のお悩みがある方は、ぜひ当センターへご相談ください。

※1 新型コロナウイルス感染症患者の入院受入の影響により、一部診療を制限しています。

※2 バクロフェン髄注療法・体内にポンプを埋め込み、薬を24時間注入する手術療法です。痙縮の改善に効果があります。

※3 ボツリヌス療法・ボツリヌス菌が作り出す天然のタンパク質を有効成分とする薬を筋肉内に注射する治療方法です。筋肉をやわらかくし、手足のつっぱりを改善します。

※1 障害者医療センター

センター長 川崎修平先生

認定看護師による地域公開研修のお知らせ

テーマ「**疾病・障害を持つ生活者に対する看護ケア**」

開催期間：2022年10月～2023年1月

毎月 第2木曜日 開催予定！

◎ホームページからお申込みください！

右記二次元コードから、ホームページにアクセスできます



	研修担当	研修テーマ	研修日程
1	脳卒中リハビリテーション 看護認定看護師 木村	高次脳機能障害の症状と援助 ～退院後を見据えた支援方法の検討～	10月13日(木)
2	脳卒中リハビリテーション 看護認定看護師 千葉	生活期のリハビリテーション看護 ～ADL 維持の看護ケアと心理的支援～	11月10日(木)
3	皮膚・排泄ケア認定看護師 大塚	基本的な褥瘡対策 ～褥瘡をつくらない、 悪化させないためにできること！～	12月8日(木)
4	感染管理認定看護師 新田	新興感染症を見据えた感染防止対策 ～COVID-19の流行を経験して 結局は標準予防策が大切だった！～	1月12日(木)

当センターの認定看護師の紹介

認定看護師名	活動内容	自分の癒し動物
脳卒中 リハビリテーション看護 木村亜矢子 千葉幸一	脳卒中後の身体的、心理的变化に寄り添い、退院後の生活を見据えた支援をチームで連携し行っています。	 しっぽと肉球に癒されています🐾
皮膚・排泄ケア 大塚三和子	多職種と連携し、退院後の生活に合わせたスキンケア、褥瘡ケア、フットケア、排泄ケアの方法を検討し、地域への伝達を行っています。	 朝の苦手な私を、毎朝起こしてくれます。
感染管理 新田紀江	センター内における感染防止活動を推進しています。埼玉県内の障害者支援施設等の感染管理に関する相談や支援も実施しています。	 先輩ナースのワンコです。